

【今週の注目疾患】

伝染性紅斑

2015年21週の県全体の定点当たり報告数は、20週の0.92から増加し0.99となった。過去4年間で報告数の多かった2011年と同程度の水準で推移している。

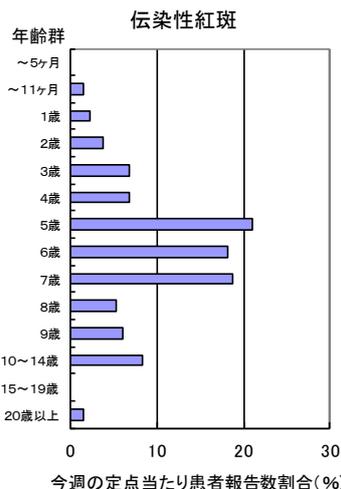
保健所別定点当たり報告数は、海匝(2.25)、夷隅(2.00)、千葉市(1.56)、市原(1.29)、船橋市(1.27)、長生(1.25)、松戸(1.13)、野田(1.00)が多い。

2015年21週に報告された133例の性別は、男性73例(54.9%)、女性60例(45.1%)で、年齢群別では、5～7歳が77例で57.9%を占めていた。

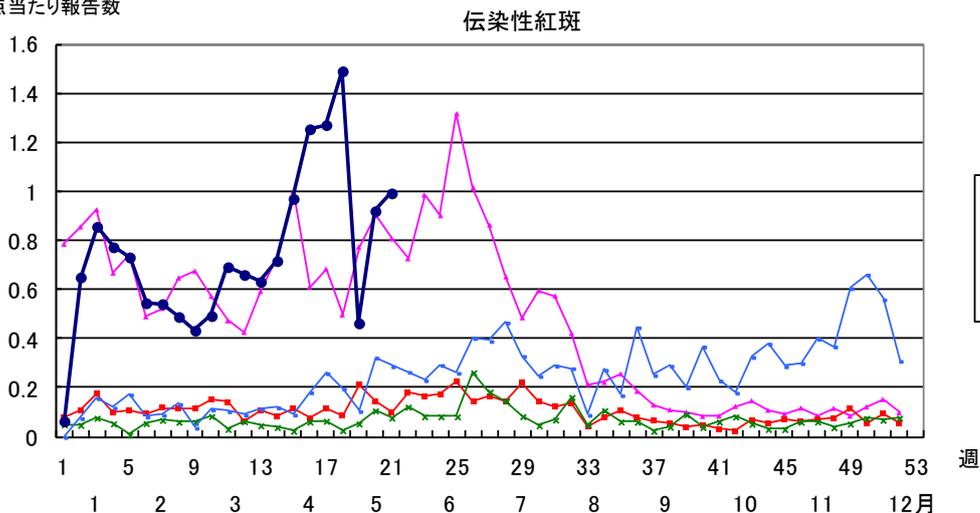
<参考>

国立感染症研究所ホームページ「伝染性紅斑とは」に疫学、臨床症状などの記載がある。この感染症の注意すべきものとして、妊婦感染による胎児の異常(胎児水腫)および流産があることが報告されている。

URL:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html>



定点当たり報告数



伝染性紅斑

